



た。会員宛てにハガキを送付... 説明会は予定していた時間を大幅に上回る3時間に及び

専用駐車区画 訴え実る

奈ト協 商店街で2か所目

【奈良】奈良県トラック協会(藤岡修三会長)は、かねて地元商店街に荷物の積み下ろし場所の必要性を働きかけてきた結果、1月31日から奈良市大宮町に貨物自動車専用駐車スペースが整備される。大きな成果が得られた。



新たに整備された駐車スペース

近鉄新大宮駅南口付近に位置し、最大積載量3.5未満のトラック5両分を確保している。利用時間帯は午前8時30分から午前11時まで。料金無料。駐車禁止場所のため、駐車可の標識があり、路面に白線で区画表示されたスペースで集配中のトラックを止めて積み下ろし作業を行う。駐車秩序の確立について、中利光事務は「時間をかけて商店街に物流の重要性を訴えてきた」と話している。

積み下ろし作業スムーズに

交通ルール再徹底

安全実現へ労使協力

【滋賀】京滋ネットワー事業協同組合(松田直樹理事長)は2日、「トラック事故の実態を知る」をテーマに研修会を開き、交通ルールやマナーの徹底を図ると共に、事故防止のヒントについて学んだ。



日本交通事改議研究所の長森紀松交通安全アドバイザーは、ドライバーの意識を高めてもらうことが重要だと話している。

【大阪】大阪府量運協同組合(高山正文理事長)は1日、新春懇談会を開き、更なる結束強化を誓った。高山理事長は「業界団体の年賀会などに出席するた。ことしは精神的に明るい話が多い。景気が回復しつつあると言われるものの、我々の運賃に転嫁されるのはたいへんになるのではないかと危惧している。

55人が受賞

【奈良】奈良県トラック協会は8日、優秀運転者伝達式及び優良事業所表彰式を行った。



全下協の会長表彰となる優秀運転者頭章には今回、合わせて55人が受賞。金賞は加賀清弘氏(原口運輸)。

パートナー企業が交流会



それぞれの悩みについて意見交換(1日)

【大阪】セイコー運輸(宮崎浩社長、大阪市住之江区)では、ホームヘルプの資格を持ったスタッフが作業を行う要介護者・高齢者向け引越サービス「住む一ぶ」をスタートさせた。パートナー企業は1年間に7社、2年目に6社が加わり、互いの強みを更に生かした3年目のことも3社が事業を始める。

「住む一ぶ」2事業 サービスエリア拡大

1日には大阪市で開いた交流会で、山形県から宮崎県まで、パートナー契約を結ぶという声も聞かれた。また、「業務者レベルの交流会」も開催された。交流会では、お互いの強みを更に生かした3年目のことも3社が事業を始める。1日には大阪市で開いた交流会で、山形県から宮崎県まで、パートナー契約を結ぶという声も聞かれた。また、「業務者レベルの交流会」も開催された。交流会では、お互いの強みを更に生かした3年目のことも3社が事業を始める。

石油や原材料が高騰し、車両は動いていても、利益が上がるのが難しい。上はらうが辛抱の時期だ。思う。組合員同士が情報交換しなから、協力し合っ

(大島利信社長、大阪府高石市を代表して大阪府量運送協同連合会、田川才助会長)の田口義隆(後援者)の発言で乾杯した後、和やかな歓談した。(水野 正博)

表彰を受けるヤマトマルチチャーター大和郡山営業所の大西氏

【皆さんのお陰で順調に運営することができた」と田中会長

き、2013年度の事業計画と予算案などを承認し、田中会長が「昨年、会長に就いて以来、皆さん

3トラ協取部会／正副部会長会議

KIT活用事例を学ぶ

【京都】京都、大阪、兵庫の各府県トラック協会の取部会は1日、京都市で

部会長が「輸送量は減少、運賃水準も期待できる水準になく、苦しい経営環境が続く。帰りの荷や積車を減らす、輸送効率を上げる手段の一つとしてWebKITに頼れ、業務に生かしてほしい」と挨拶。

日貨協連の助川利信事務長は、高度情報化社会とトラック運送業界と題して講演したほか、カワキタエクスプレス(三重県鳥羽市)社長、ロジネット協同組合事務長の川北辰美氏も自社システムの概要などを解説した。

【今後】「今後とも想される力していきたい」

Web 一致

【京都】都協同組合は2日、この1年、厳しい経営環境を乗り越え、吉田理事長の指導の下、区への活動や、車道で発車や年末の株上げ、金上昇に期待、1月が円50銭アツ

時代に

業界はどう 環境の変化にあわ